



クラブテーマ

クラブ基盤の強化と地域に根差した奉仕活動

例会報告988
(2015. 4. 27)

司会：赤木 建治 SAA委員



【開会点鐘】

中垣 範保 会長

【ロータリーソング】

『武蔵国分寺』

ソングリーダー：横道 哲夫 会員



【会長の時間】

中垣 範保 会長



皆さんこんにちは、25日にネパールで発生した大地震で、死者が2500人を超し、日本人の犠牲者も出る中、多くの建物が倒壊した首都カトマンズでは、26日も帰る場所を失った人々が戸外にあふれ早急な支援を現地の日本人たちが訴えています。地区からも支援の要請がきていますのでなんらかの形で取り組みたいと思います。今日は壁への挑戦について話します。

東京オリンピックまであと5年です。各競技で金メダルを目指して選手強化に余念がありません。

陸上競技では日本人で初の夢の9秒台ができました。日本の陸上競技に新しい時代がやってきたといっても過言ではありません。日本人選手の前に大きく立ちはだかっていましたのは、陸上男子100メートル10秒00の日本記録の壁でした。伊東浩司さんが1998年にマークして以来、誰もこの壁を破れなかったわけです。日本人は9秒台で走れないのでは、とかの限界説まで出ていました。

しかし、ついにこの壁を突き破る若者が登場しました。一ヶ月前の3月29日、アメリカのテキサス州で行われましたレースで、東洋大の桐生祥秀選手が夢の記録と言うべき9秒87を記録しました。追い風3.3メートルで残念ながら参考記録（公認2m）となりました。しかし、彼が9秒台で駆け抜けたことは紛れもない事実です。これで9秒台の日本記録誕生は時間の問題とされています。

それは単なる楽観論ではありません。スポーツの世界では誰かが未到、未知の世界を切り開くと、それまでの壁がウソのように消失するものです。才能あふれる挑戦者が「次はオレの番」といった感じで以前の壁を踏み越えていくようになります。

男子100メートルはその最たる競技といえます。電気計時で初めて9秒台で走ったのは、68年メキシコ五

輪でアメリカのジム・ハインズの9秒95でした。以来、記録更新が繰り返されています。カール・ルイス（米国）が91年に9秒86で走りました。初の9秒8台を出しましたが99年にはモーリス・グリーン（米国）が、9秒79で走りました。そして2009年には、ジャマイカのウサイン・ボルトがその記録を9秒58まで一気に伸ばしました。

記録とは肉体的な限界であると同時に精神的な壁でもあるといえます。壁の手前で思考している限りは、その壁をなかなか越えられません。しかし、誰かがその壁を越えると、もうその手前で考え込む人はいなくなってしまいます。それがスポーツの歴史であり、記録更新が持つ競技者への影響力と言えます。参考記録とはいえ今回の記録で、桐生選手をはじめ日本のライバルたちは、9秒台の思考を手に入れたはずで、次は、誰が壁を破るかなのです。

ゴルフでも追い風と向かい風では飛距離が違います。その計算はプロでも難しいところです。100メートルも追い風の中で走れば、本来の力以上の加速ができます。記録の公平性を期すため、追い風2.0メートル以上で走った記録は公認されません。しかし、順位は認められます。

今回の記録が、公認範囲の追い風2.0メートルだったらどうなるか換算した方があります。9秒96になるそうです。1.5メートルでも9秒99に相当するタイムです。

現在の陸上男子100メートルのタイム歴代トップ3は1位がジャマイカのウサイン・ボルトで9秒58です。2位が2人います。アメリカのタイソン・ゲイとジャマイカのヨハン・ブレイクで9秒69です。自らの可能性に挑戦し、壁を越えようとする選手の姿に感動です。

▲先日広島で開催された陸上の織田記念大会は雨の中、19歳の桐生（きりゅう）祥秀（よしひで）選手が日本人初となる9秒台を出す瞬間を見届けるために過去最多の1万5千人が詰めかけました。快挙は持ち越しとなりましたが、東京オリンピックに向け、選手が人間の限界に挑み、どの様な記録が刻まれるか、今から期待がふくらんできます。我々ロータリアンにも学ぶべきことが多々あると思います。我がクラブもロータリーデーに今挑戦しています。力を合わせて壁を越えたいものです。ロータリーの友5月号にはすでに実施済みのロータリーデーの事例が11クラブ載っていますのでお読みいただきたいと思います。

【幹事報告】

水島 至 幹事



- 4月20日(月) 国際R第2750地区
多摩東グループIM
- 4月22日(水) 新旧合同地区補助金委員会
- 4月23日(木) 第9回 地区リーダー会議
- 4月23日(木) 2015-16年度 第3回多摩中G協議会
- 4月23日(木) ロータリーデー打合せ会
- 4月24日(金) R財団奨学・学友・V T T委員会
- 4月24日(金) 2015-16年度 第2回クラブ協議会
- 4月27日(月) 2015-16年度 地区協議会

※ ニコニコ大賞：影山 昭夫 会員

家内の母親がこの4月に、100才になりまして、昨日100寿の祝いを身内でしました。認知症はあるものの、下の世話は自分でできる元気があります。食事よりケーキの好きな、おばあちゃんです。元気で長生きを祝ってニコニコします。



【委員会報告】

◆出席委員会／出席報告

輿水 香 出席副委員長



会員数43名 免除2名 有効会員数41名
出席者 24名
メイクアップ済 8名
計 32名 出席率81%
前々回67%を72%に訂正

【クラブフォーラム】

司会：水島 至 幹事

発表者：櫻井 健生 委員長

テーマ：ロータリーデー
シュミレーション



【ニコニコボックス】

本多 幸雄 親睦活動委員長



中垣範保 会長・水島 至 幹事

本日は2015-16年度地区協議会とバッティング
しておりますが、皆様の御出席ありがとうございます

廣瀬可世子 会員

尾作さんが当選しました。ドロ舟に乗ったかと思
いましたが沈みませんでした。本当に良かったです。

角田 桂司 会員

先日某ゴルフコンペで久々にブッチギリで優勝
しました。次回も優勝を狙う為にニコニコ致しま
す。



【閉会点鐘】

中垣 範保 会長

東京武蔵国分寺ロータリークラブ

会長：中垣 範保 幹事：水島 至

クラブ広報・会報委員会 委員長：鍋木 孝和 副委員長：櫻井 健生 委員：井口 敏之

例会場 国分寺市南町3-20-3 国分寺ターミナルビル8F Lサロン飛鳥

事務局 国分寺市南町3-20-3 国分寺ターミナルビル9F

Tel 042-323-3443 Fax 042-323-3459